

競 技 注 意 事 項 (春季)

1. 競技運営は、2024年度(財)日本陸上競技連盟競技規則及び大会要項、本大会申し合わせ事項により実施します。
2. スタートで同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とします。スタート合図は英語ですが、1・2年の種目は日本語合図で、スタンディングスタートとします。3年生以上でもスタンディングスタートは認めます。
3. すべてのトラック競技は、タイムレース決勝とします。
4. 招集場所は、100mスタート後方第4ゲート下とし、招集時間は次のようにします。競技場の外側から第4ゲートに入ってください。ただし、ジャベリックボール投げは投てき場で行うので、現地招集とします。

	招 集 開 始	招 集 完 了
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 20分前
フィールド競技	競技開始 40分前	競技開始 30分前

5. ナンバーカードを使用します。さらに800mと1500mは、右腰に小さいナンバーカードをつけて走るのので、招集場所でもらってください。
6. リレーのオーダー用紙は招集完了の1時間前までに招集場所に1部提出してください。用紙は招集場所と本部受付にあります。オーダーは、リレーメンバーの中から選んでください。1・2年男女混合4×50mR以外は、走るユニフォームを統一してください。
7. 1・2年男女混合4×50mRのオーダーは、学年・男女とも編成自由です。また、リレーゾーンは特にありません。5・6年男女混合4×100mRでは、学年は自由で、男子2名・女子2名で編成、走順は自由です。
8. ハードル競技は、スタートから1台目まで13m、高さ70cm、インターバル(ハードル間)7m、台数9台の80mハードルです。ハードル競技のみ本競技場での朝の練習を認めます。
9. ゴール後、80mH、100mに出場した選手はスパイクを脱ぎ、本部裏の室内通路を通り、スタート位置に戻ります。その他のトラック種目に出場した選手は、競技場内の本部前を除くバックスタンド側を競技に支障のないように通り、スタート位置に戻ってください。
10. 走高跳は、80cmで練習し、90cmより試技を始めます。男女ともバーの上げ方は1m20まで5cmとし、それ以上は3cmとします。マットへの着地は足裏からとし、背中・腰等からの着地は無効試技とします。試技は3回までとします。
11. 走幅跳は、3回の試技で順位を決定します。
12. ジャベリックボール投は、投てき場で行います(現地招集)。ニシ製ジャベボールを使用し、助走は15m以内とします。ボール本体を持ち、オーバーハンドで投げることにします。投てき角度はやり投と同様とします。3回の試技で順位を決定します。
13. 8位までに賞状、3位までに賞品を授与します。結果が発表(大型スクリーンに表示)されたらエントランスホールに来てください。